

第4回 那珂樋管設置魚類迷入（吸い込み）防止対策効果試験検討委員会

議事要旨

日 時：平成31年1月10日（木） 14：00～16：00

会 場：那珂機場 2階 会議室

議事等：（1）開会

（2）挨拶

（3）委員長挨拶

（4）議事

1）霞ヶ浦導水事業の概要と現状について

2）那珂川の現状について

3）これまでの検討状況について

4）今後の進め方について

5）魚類迷入試験の概要について

6）その他

（5）閉会

◆議事要旨

1. 霞ヶ浦導水事業の概要と現状について

- ・事業の概要と現状について説明を行った。

2. 那珂川の現状について

- ・那珂川の流況や課題等について説明を行った。

3. これまでの検討状況について

- ・これまでの本委員会における検討状況について説明を行った。

4. 今後の進め方について

- ・魚類迷入防止対策の検討の進め方（案）について説明を行った。

- ・試験結果を委員会に示しつつ、概ね3年間かけて試験を実施し対策の評価を行う方針を示した。

5. 魚類迷入試験の概要について

- ・魚類迷入試験の実施内容（案）の概要について説明を行った。
- ・今回の委員会における意見を踏まえ、魚類を専門とする委員の意見を聞きながら試験計画の詳細を作成することとし、次回委員会において計画（案）を提示することとなった。

<主な意見>

- ・魚類の迷入は取水口周辺の流速が影響するため、本運用時の流速を踏まえて試験計画を立案する必要がある。
- ・降下仔アユの調査是那珂川本川での分布を把握することが重要であり、時期・時間帯で整理するとよい。
→調査は実施中であり、次回の委員会において速報を提示する予定である。
- ・稚アユ稚サケ迷入量調査について、試験実施時の那珂川の流向流速を調査しておくことが重要である。
- ・標識魚の作成について、ヒレを切ることによる遊泳力（突進速度）への影響はないと考えられる。
- ・迷入防止スクリーンの試験に用いるスクリーン目幅はどの程度か。
→5, 10, 15mmの三種類を予定している。
- ・試験の回数は過大にならないよう効率的に行うのが望ましい。

6. その他

- ・次回の委員会は魚類迷入試験計画およびモニタリング計画について議論することとし、3月中に開催することで日程調整を行う。

以上